

糖代謝異常妊産褥婦への看護支援セミナー

+助産師外来での在宅妊娠糖尿病患者指導管理料獲得を目指すセミナー

講義はオンデマンド受講、ディスカッションは遠隔参加！

2020年4月、「在宅妊娠糖尿病患者指導管理料」が産後に拡大！しました。周産期医療に携わる私たちには、糖代謝異常を抱える妊婦に対して、妊娠期・分娩期の支援のみならず、産後も長期に渡って支援することが求められています。このセミナーでは、「在宅妊娠糖尿病患者指導管理料」を助産師外来において実践し、妊娠期から産後への一環した支援方法を伝授します。周産期・育児期の糖代謝異常のリスクに対して適切に支援することは、女性の一生の健康を支援すると考えます。

講義編では、周産期・育児期を専門とする看護職が、この時期の糖代謝異常に関わる科学的に正しい情報を獲得し、適切に支援できることを目指しています。また、一部の講義の受講と事前事後テストの受験で、**CLoCMiP®レベルⅢ認証申請に利用可能です**。フリーディスカッション編は、遠隔でリアル開催とします。小グループに分かれ、受講者同士の情報交換、ファシリテーターからのアドバイスをを行います。

【対象者】 テーマに関心を持つ看護職(助産師、看護師、保健師)及び栄養士等の医療職

【開催日】 講義編: オンデマンドで視聴(視聴期間: 2021年12月1日(水)~2022年1月27日(木))

ディスカッション編: ZOOMでの遠隔参加(講義編修了者、下記のどちらかに参加)

2022年1月29日(土) 13:30~15:30あるいは1月30日(日) 13:30~15:30

【参加費】 10,000円(会員、入会手続き中も会員で参加可)、20,000円(非会員)

【定員】 100名

【申込方法】 右のQRコードにアクセスし、必要な情報を入力ください。

ラダー修了証をご希望の場合、助産師免許番号も必要となります。

申し込み確認後、振込先情報をお知らせします。

※参加費の振り込みが確認された時点で、参加方法を個別にご案内します)

【応募期間】 2021年10月18日(月)~11月25日(木)

【プログラム】



オンデマンドで視聴

※講義に対する質問は、成田がメールで対応します。

	10分	オリエンテーション⇒事前テストの受験	(成田)
①	90分	糖尿病と妊娠期の糖代謝状態の基礎知識	講師: 成田 伸(自治医科大学看護学部教授、日本母性看護学会理事、看護政策検討委員会委員長)
②	90分	糖尿病の食事療法	講師: 長谷川陽子(東京大学病院管理栄養士、博士(看護学))
③	90分	周産期の糖代謝異常の診断と治療	講師: 安日一郎(長崎医療センター産婦人科医)
④	90分	糖代謝異常妊産褥婦の心理・体験	講師: 山田 加奈子(大阪府立大学講師、看護政策検討委員会委員)
⑤	90分	糖代謝異常妊産褥婦の看護の基本 ~周産期の糖代謝異常の血糖コントロールと食事・運動~	講師: 成田
	5分	以上の受講を確認して、事後テストの受験	(成田)
⑥	90分	診療報酬の仕組みと在宅妊娠糖尿病患者指導管理料	講師: 成田
⑦	90分	助産師外来での妊娠糖尿病妊産褥婦への支援~事例紹介~	講師: 森重圭子(市立吹田市民病院(母性看護専門看護師)、日本母性看護学会GDMセミナー部会委員)

フリーディスカッション(ZOOMのブレイクアウトルーム)

※1グループ 6~7名に

120分

糖代謝異常妊産褥婦の看護の実際について語る

ファシリテーター1名が参加

* 講義編①~⑤は、助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)レベルⅢ認証申請に活用可能な研修(必須研修:⑥フィジカルアセスメント:代謝)に登録しています。助産師でご希望の方に修了証書を発行します。

* 講義編完了、ディスカッション編の参加確認できた場合、日本母性看護学会受講修了証書を発行します。]